

□ : 事業予定地

← : 建設前

← : 建設後
(風向)

← : 卓越風向

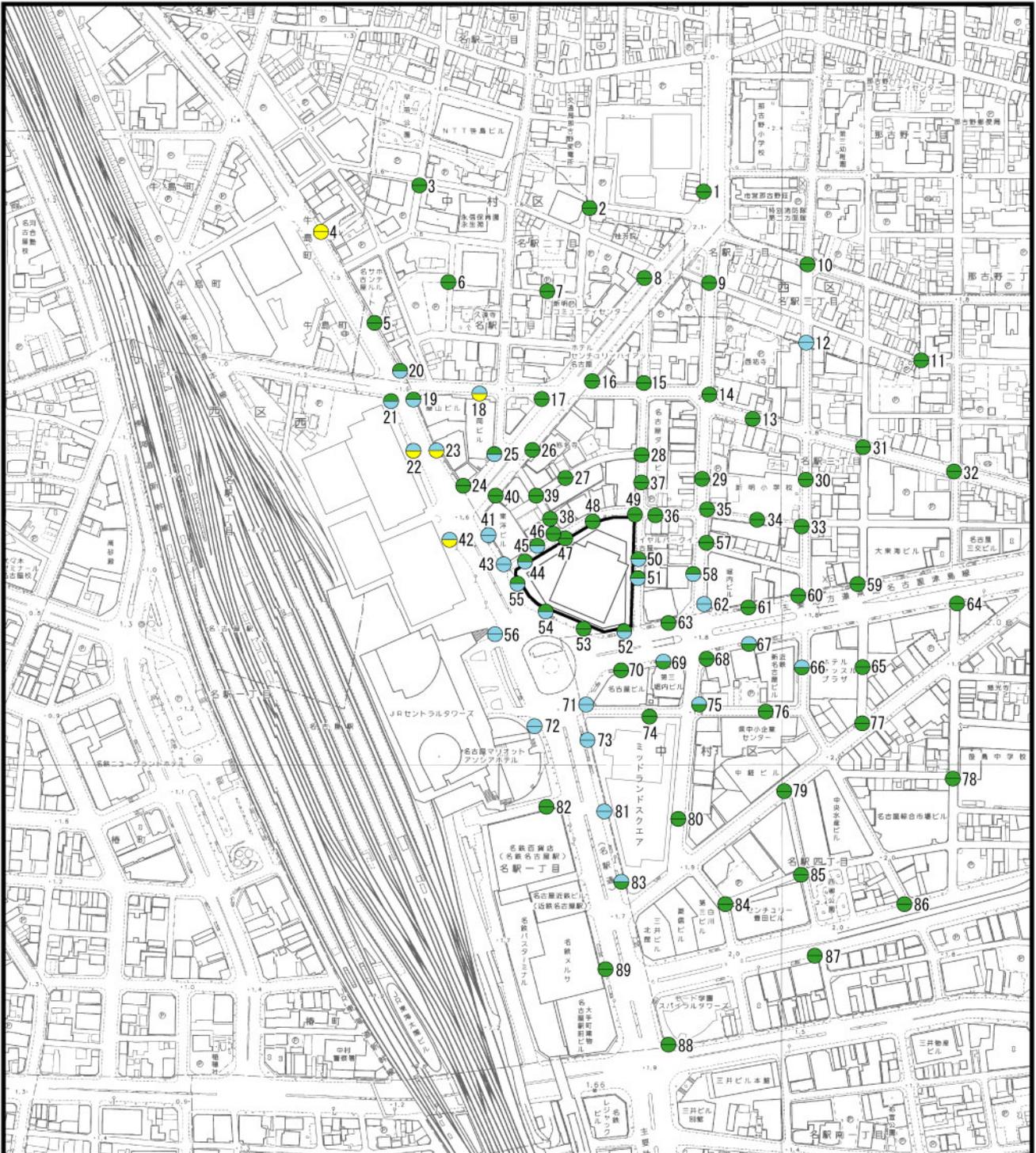
注) 名古屋地方気象台における風速を1とし、
その長さを $\frac{0}{1}$ とする。



Scale 1:6,000

0 60 120 240m

図 2.8-6(2) 風向及び風速の変化
(風向 : S の場合)



□ : 事業予定地

凡
例

● (dot) : 建設前のランク
● (colored dot) : 建設後のランク

- (green) : ランク1
- (blue) : ランク2
- (yellow) : ランク3
- (red) : ランク3を超える



Scale 1:6,000

0 60 120 240m

図 2.8-7 風環境のランクの変化
(新建築物建設前後)

8-4 環境保全のための措置

(1) 予測の前提とした措置

- ・新建築物の高層部を極力セットバックさせ、ビル風による風害の緩和に配慮した計画とする。

(2) その他の措置

- ・低層部の周辺に樹木を植栽することにより、周辺地域の風環境に及ぼす影響の低減を図る。

8-5 評 価

予測結果によると、予測の前提とした措置を講ずることにより、新建築物建設前から新たにランク3を超える地点はなく、周辺地域の風環境に著しい影響を及ぼさないものと判断する。

本事業の実施にあたっては、低層部の周辺に樹木を植栽することにより、周辺地域の風環境に及ぼす影響の低減を図る。